

感想および振り返り
本校では数年前からまわし読み新聞に取り組んでおり、児童生徒が取り組む姿を見ることは多いが、自分自身が取り組むのは初めてでした。短時間で記事を読み込み意見を書くことは大人でも少しハードルが高いなと思いましたが、「新聞に親しむ」「対話を楽しむ」「魅力的に伝える」という付加効果もあり、素敵な活動だと改めて感じました。来年のNIE全国大会に向けてサポートできるよう、さらに学びたいと思います。神戸新聞の三好講師の説明やおはなしもわかりやすく、充実したワークジップでした。ありがとうございました。
とても大変でしたが、グループの先生方と一緒に新聞を作ったり、他のグループの発表を見せていただいたりできて、大変勉強になりました。
有意義な研修をありがとうございました。「回し読み新聞」以前から存在は知ってて、興味を持っていたところなので、私にとってとてもタイムリーでした。想像以上に楽しい時間でした。自校でもこの体験を活用できたらいいなと思いました。
NIEについて、なかなか支援する機会がありませんでしたので、実際にワークショップで体験できて、楽しさや留意点、まとめ方、プレゼンテーション方法など知ることができて有意義でした。少しハードルが下がった気がします。また、勤務校でも実践してみたいと思います。企画から物品まで大変な準備をいただき、ありがとうございました。
NIEの実践の研修ありがとうございました。小学生にも楽しんで取り組みできそうです。
みんな選ぶ記事が違って、楽しく研修することができました。ありがとうございました。
新聞のテーマを決めるのに、頭を悩ませたが、新聞づくりは、楽しかった。取り組みそうな気がした。
回し読み新聞のワークショップ、楽しく参加させていただきました。学校に持ち帰って、実践できるよう準備したいと思います。
今日は、とても楽しい作業でとても勉強になりました。皆さんのアイデアや選ぶ題材などに感心し、刺激を受けました。自校に持ち帰り、委員会活動などに活用したいと思います。有難うございました。
新聞記事をみんなで選ぶことで視野が広がり、楽しい時間となりました。子どもたちとも一緒にして、新聞を身近なものにしたいです。ありがとうございました。
小学校では子ども新聞を読んでいる姿を見るので、壁新聞を作る機会があると興味のある事や普段目を通さない記事も読むことが出来ていいなと思いました。
新聞記事の紹介の仕方として、楽しい取り組みだと思いました。形式にとらわれず、自由に表現できるのは、子供達の得意とすることだと思い、子供達の作った新聞を見てみたくなりました。
今日の新聞作成の研修を学校で、図書委員会で役立てたいです。
楽しく取り組むことができた。難しく考えずにやってみるのが良いと思いました。
新聞作り、とても楽しかったです。こども新聞を利用すれば、小学生も楽しく新聞作りができていいなと思いました。我々も童心に戻って、ワイワイ言いながら楽しめました。図書委員会の活動にもいいなと思いました。
最初は戸惑って進まなかったが、気になる記事を切りとり、貼っていくとどんどん楽しくなってきたので途中からはどうやったら目立つか、目を引くかなども考えながら作業できました。子どもたちと一緒にできたらと思いました。
三好先生わかりやすかったです。ありがとうございました。メンバーも楽しかった。
関係性のないメンバーでの作業というのは、協調性が必要な中、コミュニケーションを取るのには難しいはずだけれども、制限時間も設定されていると、とにかく前に進めなければという使命感が働き、自然にそれぞれの得意なことを活かして取り組もうという気持ちが働き、一体感が生まれた。終わってみると、名前も聞かないまま帰宅したことに気づいた。普段、新聞を見ることのない児童が多いと思われるが、さまざまな分野の記事があり、自分が興味を持てる記事も載っているかもしれないと気づいてもらえる良い機会になると感じた。絵が上手、字が上手、アイデアがおもしろい、お互いの良い点を発見しあえる、魅力的な取り組みになると思う。総合や社会科の環境問題や福祉の学習に取り入れてもらえそうだった。
新聞作りを図書委員会で取り組んでみたい。それぞれの物の見方が違うことがよく分かり楽しかった。話し合いが活発になり学びがあった。
人それぞれ、どんなニュースに興味を持っているか、社会の出来事に対してどんな意見を持っているか、回し読み新聞づくりの取り組みの中で知ることができた。自分の意見を発表するのが苦手な児童も記事をベースに話せるので、意欲的に取り組めるように感じた。
他の司書さんたちと一緒にまわし読み新聞を作り、とても楽しい時間でした。なぜその記事を選んだのか話しをすることで、その人の考えや人となりをさらに知ることができました。また、イラスト、俳句づくり、すきまコメントなどそれぞれの得意なことを分担して作業を進めるうちにグループのまとまりがよくなっていきました。
ふだん定期的に授業で図書室に来るのは3年生までのため、今日のような新聞作りが3年生でも可能かどうか担任に相談してみようと思います。
勤務校でぜひ取り組みたいと思います。
自由な発想で取り組む楽しさと大切さを学びました。

改めて新聞が万人に関わる情報で溢れていることに気付かされました。勤務校では地域の方からの寄付で何社かの新聞をとっているのもっとうまく活用できる方法を見つけたい。
参加した先生方のたくさんのアイデアと出会いとてもたのしい一日でした。何事にも関心を持ち深めていきたいです。マンネリしないように司書も挑戦する気持ちを忘れずにがんばります。
図書室に新聞を取ってないため、児童が新聞に触れる機会がないのですが、テーマを決めて自分で掲示できるようなものを作りたいと思います。
グループでの新聞づくり楽しかったです。委員会活動などで提案したいと思います。
同じ時間内できちり作り込んでいるグループがあり、趣旨もしっかりしていたので事前の話し合いを行って取り組み必要があると思った。
新聞活用術として、グループで互いに新聞記事を持ち寄って新聞を作るというのが、自分が学生の時には経験しなかったということもあり、楽しく作業しながら時事も深く知れるというのが新鮮でした。興味のある記事を探す作業は自分の目で新聞を隅々まで読まないといけないので、新聞を読むきっかけづくりになると感じました。 新聞を読めるように設置していても、活用がなかなかないのが現状なので、国語等の授業で活用してもらえないか、図書担当の先生から話を持っていこうと思います。
楽しい経験でした。子どもたちに、新聞や社会問題に興味を持たすための方策としてはよいと思いました。それも司書が作るのではなく、子ども達自身が作り、考えることに意味があると思います。しかし、高校では新聞そのもの、それも数紙を読んでもらうことに注力すべきです。
新聞作り
回し読み新聞づくり初体験でした。 制作過程は記事選びがたのしかった。 記事について意見交換しながら、数人でひとつの新聞にまとめる事が、記事に対する深よみができてよかった。 自分の新聞を使った学習に対するハードルがさがった。 気軽にとりこんでみたい。
回し読み新聞の作成、とても楽しかったです。 あたり前のことなのですが、同じ新聞を読んでも人によって目を留める記事、興味をもつ記事が全然違いました。勤務校で子どもたちとやってみたら・・・と考えるとワクワクしました。ぜひ取り組んでみたいと思います。
本日の研修において、自分では視界に入っているにもかかわらず気にもとめなかった、または、選ばなかった記事が他者の視点で見ると違って見えてくる点が興味深いと感じた。 キャリア教育や伝統工芸など、特定の分野に関する記事は図書室で掲示・保管されているが、学校図書館から新聞記事の発信という点においては消極的であった。そこで、まずは小学校において低学年に向けて興味を持ってそうな新聞記事の紹介を『図書の時間』に織り込み、児童が自発的に「新聞を読む」きっかけ作りから始めたいと考える。
新聞づくりのコツを教えて頂いて楽しく取り組みました。みんなの意見を聞いたり組み合わせたりとても学びのある時間でした。
とても充実した時間でした。図書室でも気になる記事を掲示したりできたらいいなと思いました。司書同士の情報交換の時間をもっととれたら良かったです。
ワークショップ「まわしよみ新聞」の作成は、夢中で考え、手を動かし、短時間ではありましたが大変楽しい時間でした。一枚の新聞作りに、みんなの思いを積もらせていく作業は、真剣な意見交換も笑いながらの会話も生まれました。 子供たちが作成する時にも、記事一つを通して、自分の思いや楽しさなどを面白がって話せる機会になるのではないかと思います。そして、その話に興味を持って聞くことが出来る環境の場を先生と生徒ではなく、生徒同士で出来るのではないかと想像しました。 枠の中に納まるのではなく作成できるように、アドバイザーの方からの声掛けが時折ありました。他の班と絶対に違う新聞を作ろう！との思い、そして、自由な発想と人とは違うことが人を刺激することを知ると、生徒たちも楽しく好奇心を弾ませることが出来ると思いました。楽しく様々な角度から知識を得ることが出来る体験に繋がると感じました。今後の学校図書館の場に活かしていきたいと思いました。
大変勉強になりありがとうございました。 壁新聞について担当の先生と様々ご相談したいと思います。
先日は神戸新聞の三好正文さんを講師に招いていただき「まわしよみ新聞」作成のワークショップを体験させていただいてありがとうございました。 実際に作成するに当たり、他の司書の方達と、自分では思いつかないようなアイデアや視点を共有できたことは、とても勉強になりましたし色々な意味での刺激になりました。 勤務している学校でこの企画を開催できれば、普段新聞を読まない子供達にとって新聞に親しむいい機会になりますし、協力して一枚の紙面を作り上げるためにはコミュニケーション力も必要なので、とても良い授業になると思います。是非一度機会を設けて実施出来ればと思います。
先日は、研修会を開催していただき、ありがとうございました。 普段、子ども達と接していて、何か読むことが楽しくなる方法はないものかと自問していました。 NIB研修では、新聞という一見子ども達が敬遠しそうな材料をグループで回し読みすることで、読む楽しさを共有できると感じました。また、気に入った記事をスクラップして新聞を作るという過程では、コミュニケーションも生まれやすく、構成や伝え方を考えたりとアクティブに進行させやすい内容でした。 自校でも、機会があれば使ってみてみたいと思います。

私の勤務校では週一回子ども新聞が届きますが、図書室に展示するだけです。まわしよみ新聞の活動は、グループで一人一人紹介しあいながら、色々な記事を知ることができるので、楽しく新聞を読むことができました。また新聞づくりでは、メンバーそれぞれの得意分野を生かして役割分担をし、仕上げました。初めてお話す司書の方とも楽しく活動することができました。それぞれのグループによって、様々な新聞ができあがり、発表も面白かったです。ぜひ勤務校でも取り組みたいです。

私のチームは切り抜く記事のテーマをひとつに絞らなかつたが、人によって気になるポイントが異なり、人の気づきが自分の気づきにも繋がるのが面白く感じました。

紙面を装飾したり配置するアイデアも数人居る方が広がりがありました。普段は独り仕事なので、チームでアイデアを出し合う醍醐味を感じ面白かったです。

図書室にも新聞があるが読む子あまり居ません。委員を集めて「委員の気になった記事」企画などをやってみたいと思いました。

ありがとうございました。

新聞を作ったり、新聞づくりの授業支援の経験がなかったので、作り方が参考になりました。複数人で1つの新聞を作るということは、役割分担など簡単ではないですが、出来上がった時にみんなで協力して作ったという達成感があるんだと勉強になりました。何かを作る場合には、必ず図書委員と協力しながら行いたいと思います。

大変有意義なワークショップでした。

座学だけで聴くよりもやはり自分たちで試行錯誤しながら実践してみると、難しいこと、楽しいことがよくわかりました。

勤務校で先生方と共有します。

ありがとうございました。

今日の取り組みも図書委員会で提案して実践してみたい。

とても大変でしたが、グループの先生方と一緒に新聞を作るのも、他のグループの発表を見せていただくのも楽しかったです。とても勉強になりました。ありがとうございました。

委員会活動で取り組むと面白そうだと思います

普段自分では目につかない記事に触れることができ、自分の選ぶものと他人の選ぶものの違いを改めて実感した。ニュースもスマホ等で読むことが増えたが、新聞のように自分の興味のないジャンルでも頭に入ってくるような媒体の必要性を感じた。勤務校でも子ども新聞をおいているので、子どもたちの目に触れる機会を増やせるよう取り組んでいきたいと考えている。

実際に体験することで、学びがたくさんありました。同じ班の方ともたくさん話す事ができ、自然と役割分担をして新聞を仕上げる過程が楽しかったです。他の班も、皆さん個性があつたり工夫があつたりで、発表を聞くことも楽しかったです。現場でもこの経験を活かせたらと思います。ありがとうございました。

まわしよみ新聞づくり、委員会活動でも使えそうなので、やってみたいと思いました。

新聞を使ったワークショップで発想がすごく斬新で、子どもが楽しんで参加できるので機会があれば是非実施したいと考えています。今回のワークショップや他校の取り組み等を参考にもっと自分が学校のために何が出来るか、何をすべきかを常に意識しながら、業務を行って行きたいと考えています。

中学生にも授業支援として提案したいと思った。

私自身が新聞をあまり読まないため、新聞の面白さを再確認する時間になりました。また、まとめ方など授業や壁面掲示でもすぐに使えそうで、とても勉強になりました。新聞作り、楽しかったです。

新聞づくりに初めて取り組み、新聞の活用の仕方について多くの発見がありました。先生方と意見交換もさせて頂きたくさん学ばせて頂きました。ありがとうございました。

好きな記事を選んで新聞を作るという作業は、非常に面白かったです。仲間と話し合いながら作成する作業は思っていたよりはるかに楽しく、他のグループ新聞を聞くのもとても興味深かったです。普段新聞を読まない児童が大半だと思うので、縛られることなく新聞から記事を取り出す作業は、新聞へ親しむ一歩になると感じました。

改善する点を挙げるなら、発表の時間です。「児童の発表はだいたい15秒くらいです。」とおっしゃっていたので、もっとしっかり時間をとった方が満足いくのではないかと思います。

新聞を活用することがあれば提案・活用してみたいです。

グループ内においても、各々が切り抜いた新聞記事を見比べて、話題の情報だけでなく、AC JAPANの人権の広告があつたり、新聞を隅々まで見ると色々な見方ができることを学んだ。模造紙内に収めるのではなく、そこからはみ出して記事を貼ったり、折り紙を折って貼ったり、二重に重ねて仕掛けを作ったりと自由な発想で作成してもよいというのは面白かった。

学校にも各学年の階に新聞が数紙置いてあるが、今回のような取り組みすることで、新聞に興味が無い生徒も関心を持ってくれるのではないかと思います。

勤務校図書館の掲示は、内容を統一したり配列に配慮していました。しかし「まわしよみ新聞」の何でもありという自由な掲示物を作れば、少し驚かれるような壁新聞ができるのではと思いました。

小学校は新聞が届くので図書館に展示しています。神戸新聞のコラム「若者Box席」を切り抜き掲示していますが、今回の研修のように模造紙に様々な記事を貼るのも良いと思いました。